

蒲田東地区管内	
人	男 23,592 名
	女 21,837 名
口	計 45,429 名
世帯数 27,385 世帯	
平成 29 年 1 月 1 日現在	

# かまた東

★発行  
地域力推進  
蒲田東地区委員会

★編集  
地域情報紙「かまた東」  
編集委員会

★事務局  
蒲田東特別出張所  
蒲田本町 2-1-1  
☎ (5713) 2001

## 創刊二十五周年を祝して

大田区長 松原 忠 義

蒲田東地区の皆様には、日頃より大田区政に多大なご貢献をいただき、誠にありがとうございます。

この度、地域情報紙「かまた東」が創刊25周年及び第50号の記念すべき節目を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

これもひとえに、編集委員長をはじめとする歴代の地域情報紙編集委員の皆様のためまぬご尽力の賜物であり、心より敬意を表させていただきます。

地域情報紙「かまた東」は、地域で開催される催しなどの情報をはじめ、各町会員の皆様の近況を知ることができ、私も非常に親しみを感じながら、毎号拝読させていただいております。また、第48号で最終回を迎えられた「蒲田むかしばなし」コーナーでは、歴史を知ることにより自分の住む地域に、さらに興味と親しみを持つことができ、まさに地域に根差した素晴らしい情報紙

であると思います。

さて、蒲田東地区自治会連合会の皆様には、日頃より18色の地域づくりや、綺麗な街であり続けるための美化活動など、環境に優しく、暮らしやすい、にぎわいのあるまちづくりにご協力いただいております。

また、「顔と顔の見える関係を築くことが大切」というコンセプトのもと、日々防災活動に取り組みでいただき、地域防災力の強化にご尽力頂いているところであります。特に、平成27年から実施されている「まもりんピック蒲田東」は、子どもから高齢者が楽しみながら防災を学ぶことができる素晴らしい取り組みであると思います。

私は、昨年8月に熊本を訪



平成 29 年合同新年会より  
(左から) 中台編集委員長・松原区長・小山連合会長

問いましたが、震災の爪跡はいたるところに残っており、改めて地震の恐ろしさと、日頃から備えの大切さを感じたところです。お会いした熊本市長は、「住民同士のつながりの大切さを感じた」とおっしゃっていました。私は、就任以来「地域力」をキーワードに取り組んでまいりましたが、改めてその意義を実感いたしました。

さて、大田区は今年3月に区制70周年を迎えます。そして、2020年の東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、今後さらに東京・大田区が注目を集めることと思います。

蒲田東地区自治会連合会の皆様には、今後ますます増加することが見込まれる国内外のお客様を「おもてなしの心」でお迎えしていただき、「国際都市おわたの魅力とともにアピールしていただきたい」と思います。結びに、地域情報紙「かまた東」がより一層地域の皆様に親しまれる情報誌として発展をされますこと、あわせて蒲田東地区の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

## 創刊五十号に寄せて

蒲田東地区自治会連合会  
会長 小山 君子

この度、地域情報紙「かまた東」が創刊五十号を迎えることとなりました。この二十五年間、編集にご尽力いただきました多くの委員の皆様と、ご寄稿いただきました地域の皆様に、心より感謝申し上げます。

この二十五年間で、インターネットの普及などにより、情報発信のあり方も様変わりしてまいりました。世の中の情報のスピードが増した一方、温かみが薄れつつあるように感じるのには私だけでしょうか。そのような中、この「かまた東」を手にとると、同じ地域に暮らす作り手と書き手と読み手の距離の近さに、とても温かい気持ちになります。

私事ではございますが、この七月に大田区自治会連合会の会長に選任され、本紙四十九号にてご報告をさせていただきました。発刊されるやいなや、多くの方から「読みましたよ」「頑張ってくださいね」と声をかけられ大変驚きました。改めて地域における本紙の情報発信力の大きさを、身をもって体感したところでございます。

自治会連合会といたしましても、この「かまた東」が更に地域の絆を深め、愛されるものとなるよう、精一杯応援してまいります。今後とも皆様方のご支援のほど、よろしく申し上げます。

# 19の顔と声

このコーナーは、蒲田東地区十九の町会・自治会から「ラム・随筆等を、寄稿していただいております。今号では第50号を記念して、各自自治会・町会の会長並びに役員の皆様からご寄稿いただきました。

## 地域の絆を大切に！

東蒲田一丁目町会  
大森 昭彦

この題名は本年五月、会長就任した折に作成した名刺上にある町会長としての座右の銘です。お付き合い方よろしくお願ひします。この地域で生まれ育ち、昭和五十五年より青少年での活動に参加し、今日迄多くの諸先輩や町会長さん達にお世話頂きました。沢山の経験を積み今日の自分がある事に感謝しています。多くの経験を積んでこれた事は父の理解がそうさせてくれたものと、今更ながら親の影響の大きさを感じています。お陰様で平成二十六年四月には、区に売却した後の町会会館の再建ができ、借入れた資金の返済も町会員の協力のもと順調に実行できており完済の目処も立ちました。大きな地域の思いが実を結んでいます。これからも力を尽くし恩返し

の思いで町会だけでなく、遺族会のお世話や青少年の健全育成の為に活動していく所存です。宜しくお願ひします。

## 清寿会の旅

東蒲田一丁目自治会  
今野 洋子

清寿会は自治会の中のシニアクラブです。10月27、28日で一泊旅行を実施、行先は新潟の津南(大田区の指定保養施設)目的はランドゴルフ、紅葉見学と盛り沢山、幸い天候にも恵まれ一人の脱落者もなく無事終えることが出来ました。山々は美しく化粧を私達を迎えてくれました。午後一時到着待望の芝生でランドゴルフを楽しみ、ゴルフをされない方は温泉につかり、リラククス、翌日は秋山郷紅葉めぐりと充実の旅でした。楽しかった旅も蒲田に着いた時、皆大きな荷物を抱え「困ったわね」と思案。その時ご

主人に迎えるの車を手配されていた方が居り足腰の弱い方を優先とばかり車に乗せ「私は元氣ですから」とさり気なくご自分は歩いて帰られました。その好意に深い感銘と強い絆を確信した旅でした。

## 敬老のついで

東蒲田二丁目町会  
鈴木 延久

地域情報紙五〇号の発行心からお祝い申し上げます。社会情勢は少子高齢化という大嵐が急接近しており、私たちの生活を脅かす課題が山積しておりますが、いま一番大切なことは、子どもからお年寄りまで、全ての人々が、「ふれあいの心」を持ち続け、明るい未来を地域から作り上げていくことが大切だと思っております。当町会のイベントの一つに「敬老のついで」を開催しています。敬老の日は九月ですが、氏神様である蕨田神社の祭礼の為十月の日曜日に行っています。今年で三十四回目になります。七十五才以上の町会員の方をお招きして、小学校の体育館をお借りして、正午の開会で軽食を取りながらいろいろの演芸、出し物、等々

で楽しんで頂き、最後に来賓の方々を始め全員で唱歌を合唱して、二時三十分閉会しました。地域情報紙の発展と編集委員各位のご健勝を心から祈念致しましてお祝いの言葉とさせていただきます。

## 町内情報紙が町会員の信頼協力関係を築きます

東蒲田二丁目南町会  
鈴木 孝雄

「町内会が消えるかどうかという地域のつながり」というNHKクローズアップ現代の番組を視聴された方は多いと思います。高齢化や共稼ぎ世帯やマンションの増加などで会員数が増えない、行事が思うように出来ないなど、他人事ではないなと感じました。地域コミュニティとしての町会は、住民相互の情報共有が行われ、住民同士の信頼・協力関係で成立、参加型であることが重要なことと私は考えています。そこで当町会では、この情報共有と参加型という観点から町会内情報紙「町内だより」の活用を注いできました。お蔭さまで創刊以来53年を経て666号を発行する運びと

なりました。町内の行事予告や報告などを含め地域の話題を町会員にタイムリーにお届けし、情報共有と行事への参加をお願ひしています。666号を経た町内だよりは、今や町会員同士を強い絆で結びつけるツールとも、また町会の歴史を語る唯一の財産ともなっています。

## 新しくなった我が町のこと

南蒲田一丁目自治会  
指田 明俊

本誌創刊五〇号、誠におめでとうございます。歴代の編集者のご努力と熱意に對し心からお礼を申し上げます。さて、当地区では長期間の工事の後京急本線と空港線が高架化され、これに伴い京急蒲田駅の立体化工事も一昨年十二月に完成しました。続いて昨年三月には京急蒲田駅直結のエレベーター、エスカレーター付高架コンコースと駅東口のバスターミナルが完成し、ようやく真新しい装いとなりました。私共の自治会地域内には産業プラザ(PiO)があり、他所からの人達の出入りがあります。そのため、大田区の見

本になる町とすべく、常に清掃に心がけ、きれいな町にしたいと努力しています。

次に自治会活動の一つですが、去る十月に餅つき大会を開催しました。新企画でガラポンの抽選付とし、当選者にはもう一箱進呈するということで大変盛り上がりしました。

### 大運動会

南蒲田二丁目町内会  
田中 實

当町内会の第三十三回大運動会が10月23日秋晴れの空の下、南蒲小学校校庭で行われました。世代を超えて、ひとつ空の下二八〇名の老若男女が集い、熱戦を繰り広げ、順位賞品に一喜一憂していました。世の中の移り変わりが激しくなってきた時代に若い方々に町内会を知って頂ける機会として実施して、早三十三年が経ちました。今回は特に世代が移りゆき若い方々の参加が多かったように感じられました。当日参加して頂いた皆様、またお手伝いをしてくださった会員並びに地域PTAの皆様本当に有難う御座いました。また、小山自治会連合

会会長始め後藤・野澤連合会副会長並びに近隣町会として南蒲田一丁目自治会指田会長様、南蒲田三丁目町会平塚会長様、長岡所長、近隣関係各団体、小学校、中学校校長先生、PTAの役員の皆様方の御来駕を賜り、錦上花を添えて頂き誠にありがとうございます。

当町内会には、昭和六二年に会員の念願だった会館が新築され、会館を起点に各種事業を実施しております。これからも役員、会員の皆様方の協力とご支援の元、各種事業の充実、実施に力を注いでいきたいと思っております。

### ゲートボールと私

南蒲田三丁目町会  
平塚 忠

私はゲートボールを始めて二十年以上になります。元々ゲートボールを発案したのは戦後子供達の遊びとして北海道の方で始められたものです。それが大人たちも興味を持ち公園を利用することによって発展、今では世界的に広まり、老若男女問わず健康増進として盛んになっています。私自身の経験から楽しみと

健康を考える時、それに適応する事は間違いないように思っています。

太陽の下で適当の運動と頭の活性化には最適です。今年五月に町会で五人のご婦人が始め今は大分上手になりました。喜んで週二回の練習を行っています。

未来の選手として期待しています。先日六郷ゲートボール場にて試合があり参加しました。大変苦労したようです。その苦労が自身を磨いていることに外ならないと思います。私自身技を極め、その奥にある人生の醍醐味を味わって見たいと思います。

スポーツを通じ町会運営の原動力に期待しております。

### 北蒲小学校

蒲田二丁目東町会  
東出 正行

平成十三年創立四十五年記念以降統廃合されて十年が過ぎ、町会の真ん中にあつた北蒲小の思い出を振り返る。北蒲小と言えば、ソフトボール。昭和五十年代の大田区少年ソフトボール大会で、何度も優

勝に携われた喜びがあつた。その後、女子の監督も引き受ける事になる。四年の女子には大きなボールでのキャッチボールの難かしさ、毎日放課後の校庭での練習、雨の日は我家でルールの勉強。大田区大会へも参加する。大田区ソフトボール連盟の選抜チーム監督となり北蒲からも数名選手として、都大会、関東大会の試合に参加。懐かしい思い出、今は声なき旧校舎、校庭

当町会も高齢者が多く役員も少数ですが、チームワークの良さで、楽しく行きます。

### ふれあいパーク活動

蒲田二丁目自治会  
松原 弘子

我が町は、東邦医大に近く、古くからの文献に載っている「行川弾正の館(円頓寺)」を囲む地域です。

蒲田二丁目児童公園を中心に、活動を推進しています。夏休みの子供会、ラジオ体操、秋の祭り等々、高齢者と若い世代が一緒に、防災、炊き出し訓練、春は桜の下で、防災炊き出し、暖かい汁物を作っています。公園にはスツール



公園や街の清掃活動

型の窯を2基おいています。皆が炊き出し出来る様になっています。

自治会員が連携し、楽しく、公園や街の清掃をし、又公園の花を育成しています。

私達自治会が子供達に出来る事は、生活環境を守る事、花を育てる心を伝える、大切な事です。毎日だれかが見守っています。元気な子供の声が聞こえると、楽しくなります。人と人との交流を大切にしてゆきます。

### SP(スタンドパイプ)

蒲田三丁目町会  
衛藤 武近

SPと言えば通常は「要人警護のお巡りさん」と解釈されるが我が町では「震災から(6ページに続く)

# 大田区制70周年記念企画

## ちょっと昔の蒲田東



ども新しくなりました。

地域情報紙「かまた東」の第1号が発行されたのは、平成4年3月でした。今回は、50回を記念して、そのころの写真を探してみました。ちょっと前を思い出してみましよう。

平成24年6月に総合体育館がオープンし、区民がスポーツを楽しんでいます。



### ⑤平成11年頃の京急蒲田駅前踏切

京浜急行が高架になり、箱根駅伝も待たされることがなくなりました。



### ⑦昭和50年頃の大田区産業会館

現在は蒲田地域庁舎(平成13年2月竣工)となっています。





②昭和42年頃の加登屋文具店

現在は中古書籍販売の店が入ったマンションになっています。



③昭和57年頃の京浜蒲田商店街

商店街の名前が**あずと**になり、アーケード



①昭和54年頃の蒲田駅東口

店の看板もすっかり変わりました。

撮影協力 グランデュオ蒲田



④昭和40年頃の大田区体育館



番号は撮影位置です



⑥昭和30年頃の蒲田東口映画街

現在は、飲食店やゲームセンターになっています。



地域を守る初期消火器」と位置づけられている。現在、この S P が町内に 6 台設置されており、毎月のように場所を変えながら訓練を続けている。

ありなんでもそろろう街、横のデパート」といわれていた便利な街。

戻った。また数年後をめざし次世代につなげる次の街作り計画が動いている。

カマタ・パーク」になるのかしら。何だか四丁目町の雰囲気にはびつたりで、嬉しくなりました。

大震災発災後、消火器としてどれほどの効果が発揮できるかはわからない。しかし、S P が設置されている地域の人が集まり、訓練を重ねる中でお互いに知り合い、つながる人間関係は有事の際に大きな力を発揮することに疑問の余地はない。これまでの大震災の経験から、地域住民のつながりが強ければ強いほど被害を最小限に食い止めている。このつながり（昨今、絆と表現される）を我が町でどこまで築いていけるか、コツコツと地道な努力を重ねたい。

駅前には「のんべえ横町」という一角があり、良くも悪くも夜になると盛り上がる人々のたまり場になっていた。その街には、青年部があり夜おそくまでイベントの準備など頑張っていた。子供達も多く水泳教室、子供会など数多く、親共々楽しみを分かち合っていた。

四丁目会館の目の前は仲蒲田公園です。この春リニューアルして、とても綺麗になりました。決して広くはないけれど、お花見、防災訓練、清掃活動など、町会と共に在り、町会を支えてくれる頼もしい公園です。

去る十一月十三日（日）、当蒲田本町二丁目町会の神輿が、平和島ポートレース場で行われた第十五回 O T A フェスタ「みこしパレード」に参加した。これは、昨年、大田俱樂部から依頼があり参加予定だったが、あいにくの雨で中止、今年は再チャレンジとなる。大田俱樂部は、大田区内の伝統や文化芸能を保存・継承している団体である。神輿、お囃子、民謡や纏などを、区内だけでなく海外にも紹介しており、その一翼を担えることは私たちの誇りである。昨年八月に行われた蒲田八幡神社祭礼では、新調したお揃いの半纏をはおった担ぎ手の「セヤー！セヤー！」という一段と元気な声が町内に響き渡った。神輿は一九五四年に浅草の老舗岡田屋布施で購入した宮本の作である。総彫り白木

作りの屋根唐破風型神輿で、大きさは二尺である。特に細部にわたり施された彫刻が素晴らしい。O T A フェスタ本番では、担ぎ棒を新調したことで、より安定した神輿を担ぎ手が喜び、益々元気に担いでいた。神輿による町内の活性化を今後も進めていこうと思っている。

昭和三十八年完成のアーケードも月日がたち、屋根の強化ガラスもいたるところにひびわれが目だち雨の日にはアスファルト道路も水たまりがで

平成九年、京浜蒲田町会・商店街協同組合・柳通り睦会・駅前開発検討会で四者会を結成、十三年に街作り計画案ができ、十六年には再開発準備組合の設立、二十一年には都市計画決定。約七十棟の建物が解体され多くの人々が移動し二十七年に完成、町に活気が

蒲田四丁目町会 小山 君子

神輿パレード 蒲田本町二丁目町会 井上 雅史

大田区ではスポーツ推進事業として、地域スポーツクラブの設立を目指してから十数年が経過し、蒲田地区では昨年二月に「スマイルかまた」の名称で発足した。スマイルかまたは現在矢口、羽田で活発に活動しているが、蒲田東では東蒲小のエアロビクス、北蒲広場のママとベビィのダンスを月に一度実施する程度であるが、十二月には蒲田小でトップアスリートを呼んで、走り方教室も企画している。

動く 京浜蒲田町会 小櫃 真人

旧「あすと」駅側

特別なことをする必要はありません。ただ、おもてなしの心で接していきましょ、町会の皆さん、よろしくね。と、ここまで書き進めて思い

私的には十月に数名でポールウォーキングの指導資格を取得し、指導を始めた所です。ポールウォーキングは、腕

私的には十月に数名でポールウォーキングの指導資格を取得し、指導を始めた所です。ポールウォーキングは、腕



旧「あすと」駅側

を使う分通常の 20〜30%増の運動効果があり、メタボや口コモ（寝たきり予備軍）の予防と改善になり、体幹筋の強化、肩こりの改善等いろいろな運動効果が期待できる。今後共スマイルかまたの発展と自身の体力作りに頑張ります。

### 地域住民ファーストへの町内会等の課題

蒲田一丁目自治会  
佐々木 一夫

昨年の「大田区政に関する世論調査」で、矢口等を含めた蒲田地区の回答の約二割は、治安や災害時の安全性に不安を感じ、転出の意向があるとのこと。

施策要望の一位は防災対策で、特に避難方法・避難場所の把握が約三割を占める。

参加した地域活動の五割以上はお祭り等だが、参加したことがないが約三割占める。

共稼ぎや独身者からは地域の人とつながりを持ちたいとの声もある反面、町内会等の地域活動について聞いたことがない等が六割強を占め、町内会等の課題となろう。

蒲田は良かったとの声が寄せ

られるような街にするためには、行政に頼るだけでなく、地域住民からの協力も不可欠で、その中でも町内会等の果たす役割は重要と思われる。

### 地球温暖化に思う

蒲田本町一丁目町会  
石井 正夫

最近、生活習慣病が気になり始め、自転車に乗らず一日一万歩を目標に歩くようにした。

歩き始めるとイチヨウの並木の中に涼しげな木が目についた。名札には、ジャカラダとある。どんな花が咲くのだろうか。

道路の公害防止に一役買っている様である。

先日、二年に一回の市民消火隊操法発表会が新宿小学校の第二校庭で行なわれた。

校庭には卒業生が記念に植えて行ったのか珍しい木が沢山植られ実を付けていた。

第一校庭の全面芝生も美しく



ジャカラダの木

く清しい。近くに六郷用水の跡の石碑が有る。

以前、この辺りは、農業が行なわれていたのだろう。工場地帯に変わり、そして今はマンションが立ち並ぶ町となった。公園には、大きく育った楠や楓などが生茂っている。

公害のない緑多い街で有って欲しい。

同時に災害に強い街で有りたいと願う。

### 明日への一歩

蒲田東口町会  
柳 豊純

会長に就任し、気が付けば、あつというまに一年が過ぎようとしています。今日まで何とかやって来られたのも、町会の皆様、とりわけ理事・役員そして、婦人部の皆様の御協力の結果に他ならないと思っております。

さて、東口町会の活動を考える時、商店街の皆様が大きな力になってくれていることは、まぢがいなと思います。もちろん、町会、商店街と方向性に違いはありますが、蒲田の町が益々元気に、そして、安心、安全な誰もが住みやすい町になる様にとの思いは変わらないと思います。また、近隣町会皆様方や、行政の方々には、尚一層のご支援、ご協力をお願い致します。そして、蒲田の未来図「夢」を一緒に描いて行く事が出来たらと思っております。

### わが街のオアシス

蒲田五丁目南町会  
後藤 満春

安全で清潔で素敵な街でもあって欲しい。この街に住む者みんなの願いでもある。

### 市民消火隊

ポンプ操法発表会  
蒲田公団自治会  
野澤 秀作

去る十月三十日(日)、前日まで雨が降り発表会が心配でしたが、当日は曇りで肌寒い半日、参加町会が日頃の訓練でポンプ操法の披露を実施、素晴らしい発表会でした。隊員及び携る関係先の皆様、ご苦勞様でした。

蒲田駅東口の過密な飲食街を少し南に下ると街の表情が一変し、プロムナードを巡らせた緑豊かで清潔なたたずまいに包まれる。これこそわが町のオアシス、アロマスクエア街区である。手入れの行き届いた素敵なエリアが維持されている事は区民にとつての憩いや癒しだけでなく、街の浄化にも役立っているに違いない。ニューヨークの再生で有名になった些細な汚れや違反が街の荒廃を招くという「破れ窓理論」の逆である。「破れ窓理論」といえば昨今わが街で問題となっている放置自転車や不法駐輪も「破れ窓」の一つと捉えられる。生きのいい街であることが蒲田の良さではあるのだが同時に

私が見た感想です。各町会隊員様の高齢化です。当自治会の隊員も高齢化し動きが遅くなる。ホースを担ぎ走る、涙ぐましい姿を拝見した。組織として若い隊員を募集したいが、防火防災に関心薄く、集まらず頭が痛い。隊員同士励まし合い、日々訓練に励んでいます。「継続は力なり」です。

蒲田消防少年団を拝見し羨ましく感じました。当公団も色々と考え力を結集して行きたいと思う。自助の啓発、切磋琢磨し地域に貢献したいと思う。

# 「かまた東」第50号発刊によせて

東蒲田二丁目南町会 笹 千代子

この度、「かまた東」第50号の記念号発刊にあたり、平成11年に編集委員の仲間入りをし、いっしょに17年の歳月が経ってしまいがちだが、地域情報紙「かまた東」の来し方を振り返る思い出の原稿を書く事になりました。

せっかくのチャンスを頂いたので、この際これまでの「かまた東」を、最初から読み返してみようと思いましたが、幸いなことに少々抜けているページもあり、第5号から最近まで何とかファイルしてありました。

私情報紙「かまた東」編集に携わって二年目の平成14年8月26日発行の第21号では、思いがけずメインテーマ「蒲田駅前放置自転車・バイクワースト一位を返しよう」の原稿を依頼され、当時の私にとりましてはあまりの大きなテーマに何をどう纏めたら良いか迷い困惑し、眠れない日々が続きました。このように大変悩ん

だ末、全力集中して書いた今年も記憶にある原稿です。この年の4月5日付けの全国紙に「蒲田駅前自転車ワースト3591台」の大見出しを見て愕然とし、蒲田住民の一人として黙っていられずこの記事を取り上げたのですが、あの頃はこんなにフレッシュな心でいたのか、又気持ちよく思った事をなかなか面白く現在にも通じる様な文章で書き、それを13年以上経ってあの時こんな気持ちでいたのだと思いやる事も嬉しいものでした。

歴代の編集長さん・出張所長さんはじめ事務局の方々はどうも皆温厚な方で編集委員の方々とコミュニケーションも素晴らしく、編集会議はいつも和気藹々と笑いのある会です。特に年2回の毎号最後の校正が終わった後の打ち上げ会兼反省会は、皆様忌憚なく言いたいことを言う、この楽しさを忘れることはないでしょう。



思い出の「かまた東」第21号

## 第2回 防災運動会

まもりんピック蒲田東

平成28年10月9日(日)、大田区総合体育館において、「第2回まもりんピック蒲田東」防災運動会」が開催されました。

このイベントは、蒲田東地区自治会連合会を主催とし、各種地域団体や中学生ボランティアの協力のもと地域力と防災力の向上と、地域の顔の見える信頼関係を作ることを目的としています。全5競技①防災〇×クイズ②防災宝探し③避難所はつらいよ④ぼくもわたしも消防士⑤バケツリレーを楽しみながら、防災を学ぶことができました。



絆深まるバケツリレー

## 第17回

蒲田東フェスティバル

平成28年11月20日(日)、第17回蒲田東フェスティバルが、自治会町会をはじめ、43団体に協力をいただき、都立蒲田高等学校で開催されました。当日は、天候に恵まれ、鼓笛隊のパレードから始まったイベントには過去最大の約2500人の参加者で賑わいました。

校舎内では各町会自治会・小中学校・警察署・消防署などの展示や体験コーナーがあり、また、外では各種模擬店やつきたての餅のサービスなどが行われ、すべて大盛況のうちに終了しました。

### 受賞のお祝い

◎瑞宝双光章

保護司 鈴木登志正 様

蒲田消防団

前团长 沢畑 藤雄 様

### 編集後記

今号は第50号(創刊25周年)。改めて蒲田東地区の19の自治会・町会の皆様の長年にわたるご協力に感謝申し上げます。

記念すべき今号は大田区長・松原忠義様、自治会連合会長・小山君子様にご寄稿いただきました。また、地区地域のために平日頃ご活躍されている自治会・町会長の皆様にも執筆いただきました。お忙しい中、まことにありがとうございました。

今号はカラー印刷、増ページです。昭和22年3月に大田区が誕生し、本年は区制70周年。これを記念し、特別企画として「蒲田東の今昔」を写真で紹介しました。今風の風景は阿部編集委員が撮影してくれたものです。ダイナミックに変化し続けた蒲田東。あなたはどんな感慨をお持ちになりましたか?..

### 編集委員長

本蒲田二丁目町会 中台陽一郎

### 副編集委員長

蒲田二丁目自治会 杉山敬次郎

### 編集委員

- 東蒲田二丁目自治会 笠原 義孝
- 東蒲田二丁目町会 藤井 香子
- 南蒲田二丁目自治会 佐藤 昌利
- 蒲田二丁目自治会 服部 孝介
- 蒲田東口町会 鈴木 敏弘
- 東蒲田二丁目町会 笠原 信子
- 蒲田三丁目町会 山崎 礼子
- 蒲田本町二丁目町会 阿部 慶一
- 蒲田五丁目南町会 佐藤慎一郎
- 東蒲田二丁目南町会 笹 千代子
- 南蒲田三丁目町会 宗像 正治
- 京浜蒲田町会 林 幸男
- 蒲田本町一丁目町会 小清水三郎
- 南蒲田二丁目町会 鈴木 國雄
- 蒲田二丁目東町会 山田 有恒
- 蒲田四丁目町会 鷹取シホリ
- 蒲田公園自治会 前田 金野